

会議顛末書

記録者 仲村 堯之

	市長	副市長	部長	課長	課長補佐	主係	査長	グループ員
供 覧								
件 名	令和3年12月臨時庁議							
年 月 日	令和3年12月27日（月）							
時 間	9時00分～10時55分							
場 所	3階庁議室							
欠 席 者	平塚教育長							
内 容	<p>1 空家等対策計画の中間評価と計画の見直しの考え方について【生活安全課】【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料に基づき生活安全課から説明を行った。 <p>《主な意見・質疑等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空家対策を進めるにあたり、都市計画法や建築基準法といった関係法令の整備が追い付いていない状況の中、見直し後の計画に掲載できるような新しい事業はあるのか。 ⇒ 現段階で具体的なものはないが、利活用に重点を置いた施策に舵を切れるかという点は課題である。ただし、策定当時の指標と現状に開きがある部分の指標の見直しはできるのではないかと考えている。 ・ 計画期間の後半に向け、指標などを微調整していきたいということか。 ⇒ 当初計画を策定する際には、サンプルがない中で目標値を設定したものと推察する。そうした中、目標値と現状値に大きな開きがあるままにしておくことが妥当かどうかという意見もあり、見直していきたいと考えている。 ・ 空家の適正管理については、成果が出ている状況もある。利活用については、当市に限らず全国的にも難しい問題であり、その部分が達成できていないからといって、計画を見直さなければいけないという使命感を無理に持たなくても良いのではないか。 ・ 新たな指標を加えるという考えはあるか。 ⇒ 基本的なものは変えるつもりはないが、目標値として「一部改善」を含むものなど、数値として捉えにくいものがあるので、「完全解決」を一つの基準として達成率を設定していくことも検討している。 ・ 条件の良い空家は、空家バンク制度を使わず、通常の不動産売買でやりとりされてしまう現状がある。そのため、空家対策の中心は、危険な空家等への対応を進めることであるのではないか。 ・ 市の取組として、危険・特定空家の解消と利活用の2つが挙げられると考えている。危険・特定空家への対策は進んでいる一方で、利活用は進んでいないという印象を受ける。行政経営評価委員会でも委員からも空家への取組に対する厳しい意見があった。市民の期待も大きい事業であり、見直しをしないという話はできないと思う。今後、市街化区域にも空家が多く出てくることを見据えて、行政として何ができるかを念頭に置きながら対策を練っていかねばいけない。 ・ 空家バンクの名称が定着している中で、具体的な取組の成果が見えてこないのは残念。関係団体と連携の上、成果を市民にも見てもらえればと思う。 							

《協議結果》

- ・ 了承

2 地域担当職員制度の現状と課題について【コミュニティ推進課】【報告事項】

- ・ 資料に基づきコミュニティ推進課から説明を行った。

《主な意見・質疑等》

- ・ アンケート結果を見ると、職員への負担が明白である。またやらされ感が強いという話も耳に入っている。地域担当職員を担う職員とそうでない職員の偏りがある中、通常業務と地域担当職員業務で休日出勤が増えるにも関わらず、年次休暇の取得を促すような矛盾した指導をしなければならない状況になっていると感じる。
- ・ 地域担当職員が本来担う業務は決まっていると思うが、その基準を徹底していかないと職員の不満につながってしまうのではないか。
- ・ 過去に地域担当職員業務に従事していたが、地域住民が求めているのは各事業の手伝い、人手の確保が主であると感じた。地域コミュニティ協議会が運営面で相談したい場合にはコミュニティ推進課職員が対応すべきと考えるが、名張市の事例のように専任職員を配置するのも良いのではないか。また人手不足の際は、ボランティアとして市職員に対する声かけを行うのも良いのではないか。
- ・ 地域担当職員と地区活動拠点指定職員との関係についても分析していただきたい。この2役は同じ職員が担っていくのが最適であると考えている。
- ・ 負担感という言葉が出ているが、市の職員として地域担当職員のような業務を担っていくのは当然だと思う。こうした意識付けについてはしっかりと教育していかないといけないのではないか。
- ・ 職員数も減る一方で業務が増えていくという状況の中、地域におけるサービスを低下させてはいけないというのは全国的な課題だと思う。そうした状況を踏まえ、地域でできることは地域でという考えの下にスタートしたのが地域担当職員制度であると認識している。当制度のメリットは地域とのつながりを構築できること、また職員のスキルアップに繋がることだと思う。全体の奉仕者として、どれだけ市民に寄り添っていけるかということが求められている。
- ・ その一方で、市職員への負担にもつながっているという課題があることから、制度の見直しは必要だが、主旨は忘れないようにしていただきたい。また個人差・地域差を踏まえたインセンティブへの考えも整理してもらいたい。
- ・ また、今後の地域力向上に向けた課題として、13地区のコミュニティ協議会が完成している中、コミュニティセンターの位置付けをどうしていくのかという点も検討していただきたい。

《協議結果》

- ・ 了承

3 令和4年度当初予算編成状況について【財政課】【報告事項】

- ・ 資料に基づき財政課から説明を行った。

《主な意見・質疑等》

- ・ 特になし。

《協議結果》

- ・ 了承

4 その他

	<ul style="list-style-type: none"> 産業経済部長より、宮城県で豚熱の発生を受けた茨城県内及び市内での対応状況について報告があった。 危機管理監より、年末年始の気象予報について報告があった。 		
要 措 置 事 項			
情 報 公 開	公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	(龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当)
		公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）	